1 請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、1,328件（102種類）であり、このうち特に件数の多かったものは、「食品衛生法の改正及び同法に基づく行政措置の抜本的な整備強化に関する請願」183件、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律第十九条の改正に関する請願」79件、「消費税の増税反対、消費税率の三％への減税に関する請願」75件、「安心して掛かりやすい医療保険制度に関する請願」68件などであった。また、アメリカにおける同時多発テロに関連した請願は13種類122件が紹介提出された。

各委員会への付託件数は、内閣23件、総務71件、法務15件、外交防衛149件、財政金融94件、文教科学109件、厚生労働786件、経済産業20件、国土交通16件、環境24件、災害対策21件であった。

請願者の総数は594万9,733人に上っている。

請願書の紹介提出期限については、11月21日の議院運営委員会理事会において会期終了日の7日前の同月30日までと決定された。なお、最終回の付託請願については、特別委員会における請願審査が12月5日に行われることになったため、請願文書表の配付を待たず、4日午前中に原本付託した。

12月5日、6日及び7日、各委員会において請願の審査が行われ、4委員会において369件（14種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで7日の本会議において「私立学校の保護者負担軽減及び私学助成の充実に関する請願」外368件が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は、27.8％であり、また、種類別の採択率（採択数／付託数）は、13.7％であった。